

福島県相馬地区における食物アレルギーを持つ児童への対応に関するアンケート調査

出典	小児科臨床 2018;71(8):1433-1440 (http://search.jamas.or.jp/link/ui/2018380586/)
著者	武山彩 他
調査地域	福島県相馬地区（新地町、相馬市、南相馬市）
調査時期	2016年8月
調査対象	保育所15施設、幼稚園16施設、小学校28校、中学校12校、高校8校、特別支援学校1校
依頼数	80施設
有効回答数 または回収率	94%(27施設, 48校: 11,659人)
診断方法	職員の申告（医師の診断の有無は問わない）
有症率	3.1%(364人), （未就学児 3.5%(80人), 学童 3.0%(284人)）
調査概要	福島県相馬地区の児童を対象に食物アレルギー児の有病率とアレルギー児への対応を調査した論文。誤食は10施設で経験があったが、エピペンを使用した例はいなかった。